

母性看護学・助産学分野年報 No.4

Activity Report on Department of Midwifery and Women's Health

平成 17 年度

2005.4-2006.3

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
母性看護学・助産学分野

Department of Midwifery and Women's Health,
Division of Health Sciences & Nursing,
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

目 次

1. はじめに	1
2. 研究業績	2
(1) 原著・報告	
(2) 総説・解説など	
(3) 著書・報告書	
(4) 学会発表	
3. 研究活動	5
(1) 抄読会	
(2) 母性看護学・助産学研究報告会	
(3) 研究会・勉強会	
1) シフラの会	
2) これからの施設内分娩と助産師教育のあり方勉強会	
(4) 研究プロジェクト	
(5) 研究交流促進	
4. 教育活動	11
(1) 学部講義	
(2) 学部実習	
(3) 大学院特論	
(4) 修士論文	
(5) 卒業論文	
5. 学内外での活動	17
(1) 学内の活動・役割	
(2) 学外での活動	
(3) その他	
6. 教室日誌	19
7. 教室員名簿	20

1. はじめに

母性看護学・助産学分野は、平成14年6月に新たに設置されてから5年目を迎えようとしております。平成15年10月1日付けをもって、文部科学省より助産師学校としての指定の通知を受け、助産学教育課程が平成17年度より開講いたしました。平成18年3月には初めての助産学教育課程修了者の安西朋子さんを助産師として東京大学医学部附属病院に送りだすことができました。

大学院生も毎年1名ずつ増え、周産期を中心とした研究プロジェクトも意欲的に行われ、その成果を形にしつつあります。

年度末にはvisiting professorとして、米国University of Michiganのassociate professorであるSeonAe Yeo先生、ノルウェイUniversity of StavangerのprofessorであるElisabeth Severinsson先生をお迎えし、講演会、勉強会、研究相談会を実施し、さらに共同研究を開始いたしました。

また東大病院の方々との勉強会も始まり、臨床現場とのつながりをより深めていくことを目指しております。第1回目の勉強会では東大病院より看護部の榮木看護部長ならびに女性診療科・産科の武谷教授よりご挨拶いただき、上野仁子看護師長をはじめ多くの病院スタッフの方々にご参加いただきました。

平成17年度の構成員は、教授（兼担）1名、講師2名、助手1名、大学院生博士課程1名、修士課程2名、研究生1名、非常勤講師6名、事務員2名でした。新年度はこれまで行ってきた研究の成果を各人が論文として国内外へ発信していくことを目標としています。

2. 研究業績(2005.4. ~ 2006.3)

(1) 原著・報告

小安美恵子, 春名めぐみ, 松崎政代, 村嶋幸代, 福岡秀興, 塚本浩子, 吉原一
BMI 別にみた妊娠中および産褥1ヶ月の母体体重の変化
母性衛生, 46(2):325-332, 2005.

指田百恵, 永田智子, 村嶋幸代, 春名めぐみ
ハンセン病回復者の社会復帰時の生活に関する研究 ―再入所者への面接調査から―
日本公衆衛生雑誌, 52(2):146-57, 2005.

村山陵子, 久保田富夫
健常女性の月経周期における睡眠時姿勢および自覚的睡眠感との関係
母性衛生, 46(1):53-61, 2005.

上田康夫, 丸尾原義, 足高善彦, 本田由佳, 深山知子
現行母体至適体重増加基準の妥当性に関する研究 1988年からの15年間における母児
体重の変遷からの再評価
産婦人科の進歩, 57(2):121-130, 2005.

村山陵子, 鈴木幸子, 今井充子, 他3名
文献にみる10代女性の妊娠・出産の支援の動向と課題 (報告)
思春期学, 23(1):179-189, 2005.

(2) 総説・解説など

春名めぐみ, 大田えりか
母性衛生学会報告 妊娠中母体体重増加
メディカルトリビューン, 38(47):34, 2005年11月24日

村山陵子
【特集2 姿勢をめぐる最新研究―日本人間工学会の話題から】睡眠と身体の向きとの
関連について
POSTURE しせいと生活, 26:37-41, 2005.

中山香映
【新しいKnow-Howを学ぶ これからの出産準備教室 妊婦に寄り添う「参加型」クラスの
すすめかた】出産準備教室 Knowledge 編 妊娠初期(妊娠16週未満)妊娠初期の保健
指導のポイント 流産?私のせい?
ペリネイタルケア 2005 夏季増刊:40-42, 2005.

(3) 著書・報告書

村本淳子, 高橋真理編 春名めぐみ, 他18名著: 正常な新生児, 「ウィメンズヘルスナーシング 周産期ナーシング」ヌーヴェルヒロカワ, 担当部分p205-248, 2005.

高橋真理, 村本淳子編 村山陵子, 他24名著: 更年期女性の健康問題と看護, 「ウィメンズヘルスナーシング 女性のライフサイクルとナーシング 女性の生涯発達と看護」ヌーヴェルヒロカワ, 担当部分p233-257, 2005.

主任研究者 春名めぐみ

就労妊婦の労働負担による身体及び心理的ストレスに関する研究

分担研究者 村山陵子, 福岡秀興, 関根恭一

平成17年度 科学研究費補助金 萌芽研究 報告書

主任研究者 春名めぐみ

出産後の女性に対する健康生活プログラムとその効果

分担研究者 村山陵子, 渡辺悦子, 福岡秀興, 村嶋幸代, SeonAe Yeo

平成17年度 科学研究費補助金 基盤研究B 報告書

(4) 学会発表

Megumi HARUNA, Masayo MATSUZAKI, Mieko KOYASU, Ryoko MURAYAMA, Hideoki FUKUOKA, Sachiyo MURASHIMA

A comparison of health education provided to pregnant women by independent midwives and obstetricians in Japan.

27th Congress of the International Confederation of Midwives, Brisbane Australia, 24-28 July, 2005.

春名めぐみ, 松崎政代, 大田えりか, 渡辺悦子, 村山陵子, 村嶋幸代, 塚本浩子, 福岡秀興, 永井泰, 小笠原加代子, 関根恭一, 田畑伸幸, 本田由佳

妊娠中の母体体重増加とその関連要因 —妊娠前BMI 標準妊婦での検討—

第46回日本母性衛生学会 宮崎県 ワールドコンベンションセンターサミット

2005年10月6日~7日

(会議録)母性衛生, 46(3):119, 2005.

大田えりか, 春名めぐみ, 松崎政代, 本田由佳, 渡辺悦子, 村山陵子, 村嶋幸代, 永井泰, 小笠原加代子, 塚本浩子, 福岡秀興

BMI 別にみた妊娠各期の部位別体組成の検討

第46回日本母性衛生学会 宮崎県 ワールドコンベンションセンターサミット

2005年10月6日~7日

(会議録)母性衛生, 46(3):119, 2005.

大田えりか, 松崎政代, 田中智恵子, 春名めぐみ, 村嶋幸代
開業助産師技術の途上国への応用の検討 セネガル, パオスコト郡への応用
第20回日本国際保健医療学会 東京都 東京大学 2005年11月5日~6日
(会議録)国際保健医療, 20(1):99, 2005.

松崎政代, 春名めぐみ, 大田えりか, 渡辺悦子, 村山陵子, 村嶋幸代, 永井泰, 小笠原加代子, 塩地出, 関根恭一, 田畑伸幸, 本田由佳, 塚本浩子, 福岡秀興
妊婦の尿中バイオピリン値に関連する要因
第46回日本母性衛生学会集会 宮崎県 ワールドコンベンションセンターサミット
2005年10月6日~7日
(会議録)母性衛生, 46(3):115, 2005.

村山陵子, 久保田富夫
睡眠と身体の向きとの関連についての基礎的研究
日本人間工学会第46回大会, 東京都 東京医科歯科大学 2005年6月11日~12日
(会議録)日本人間工学会誌, 41 特別号:134-135, 2005.

渡辺悦子, 李廷秀, 川久保清
出産後の体重と生活習慣の変化
第64回日本公衆衛生学会, 北海道 札幌コンベンションセンター 2005年9月14~16日
(会議録)日本公衆衛生雑誌, 52(8):426, 2005.

上田康夫, 丸尾原義, 足高善彦, 本田由佳, 中林正雄
母体体脂肪測定を応用した新しい妊婦栄養評価へのアプローチ
第57回日本産科婦人科学会学術講演会, 京都府 国立京都国際会館 2005年4月2日~5日
(会議録)日本産科婦人科学会雑誌, 57(2):535, 2005.

Yasuo UEDA, Motoyoshi MARUO, Yuka HONDA and Tomoko MIYAMA
Estimation of body fat mass in pregnant women by a new method using leg-toleg bioelectric impedance 7th International Symposium In Vivo Body Composition Studies (BC2005),
University of Symposium, England UK, 7-9 September, 2005.

本田由佳
思春期女子における体組成・骨塩量・骨密度に関する研究—運動群と非運動群との相違—
第8回順天堂大学生理学研究室OG/OB研究会, 東京 順天堂大学医学部 2005年7月2日

3. 研究活動

(1) 抄読会 (毎週火曜日・地域看護学の抄読会へ参加)

平成 17 年度, 抄読会において紹介された文献および紹介者は以下の通りである。

前期 2005. 4/12～ 7/12, 後期 9/20～ 2006. 3/7

月 日	担 当	内 容
4 月 12 日	村嶋幸代	平成 17 年度の開始に当たって —地域看護学教室の目指すものと基本的事項— カナダ研修報告—The practice of community health nurses in Canada—
4 月 19 日	小林小百合 渡井いずみ	DL Willems, A Hak, F Visser, G Van der Wal. Thoughts of patients with advanced heart failure on dying. <i>Palliative Medicine</i> . 18: 564-572, 2004. (クリティーク:武内) 学会予行: ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度日本語版 (WFC-S) の開発 —第一報—
4 月 26 日	松崎政代 長弘佳恵	Romero-Gutierrez G. Malacara JM. Amador N. Fierro-Martinez C. Munoz-Guevara LM. Molina-Rodriguez R. Homeostatic model assessment and risk for hypertension during pregnancy: A longitudinal prospective study. <i>American Journal of Perinatology</i> . 21 (8):455-62, 2004 Nov. (クリティーク:春名) M2 修論進捗状況報告
5 月 10 日	有本 梓 大田えりか	A Miles, HV Curran, S Pearce, L Allan. Managing constraint: the experience of people with chronic pain. <i>Social Science & Medicine</i> . 61 (2): 431-441, 2005. (クリティーク:村嶋) M2 修論進捗状況報告
5 月 17 日	中山香映 村山洋史	RE Casiday, CM Wright, C Panter-Brick, KN Parkinson. Do early infant feeding patterns relate to breast-feeding continuation and weight gain? Data from a longitudinal cohort study. <i>European Journal of Clinical Nutrition</i> . 58: 1290-1296, 2004. (クリティーク:渡辺) M2 修論進捗状況報告
5 月 24 日	横山由美 本田由佳	Ht'zeng HM. The influence of nurses' working motivation and job satisfaction on intention to quit: an empirical investigation in Taiwan. <i>International Journal of Nursing Studies</i> . 39(8):867-78, 2002 Nov. (クリティーク:永田) 話題提供: 女子中・高校生の骨量・体組成に関する調査
5 月 31 日	春名めぐみ 田口敦子 村山洋史	Freeman LM. Timperley H. Adair V. Partnership in midwifery care in New Zealand. <i>Midwifery</i> . 20(1):2-14, 2004 Mar. (クリティーク:小林) 地域看護学会予行: 健康推進員活動に関する実態調査 (第 1 報) 健康推進員活動に関する実態調査 (第 2 報)
6 月 7 日	村山陵子 武内奈緒子	McCandlish R. Bowler U. van Asten H. Berridge G. Winter C. Sames L. Garcia J. Renfrew M. Elbourne D. A randomised controlled trial of care of the perineum during second stage of normal labour. <i>British Journal of Obstetrics & Gynaecology</i> . 105(12):1262-72, 1998 Dec. (クリティーク:中山) 地域看護学会予行: 訪問看護の必要性和実際の利用の有無別に見た在宅高齢者の特性

6月14日	武内奈緒子 福井郁子	Haig AJ. Rich DM. Hadwin K. Davis LP. Theissen M. Insurance case managers' perception of quality in back pain programs: a focus study group. <i>American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation</i> . 80(7):520-5, 2001 Jul. (クリティーク:田口) 修論進捗状況報告
6月21日	近藤由生子 村嶋幸代	Kalichman SC. Cain D. Fuhrel A. Eaton L. Di Fonzo K. Ertl T. Assessing medication adherence self-efficacy among low-literacy patients: development of a pictographic visual analogue scale. <i>Health Education Research</i> . 20(1):24-35, 2005 Feb. (クリティーク:渡井) 話題提供:在宅で365日・24時間在宅療養者が安心して暮らせる地域ケアシステムの構築
6月28日	永田智子 村山洋史	Magilvy JK. Congdon JG. The crisis nature of health care transitions for rural older adults. <i>Public Health Nursing</i> . 17(5):336-45, 2000 Sep-Oct. (クリティーク:松崎) M2 修論進捗状況報告
7月5日	福井郁子 長弘佳恵	Mitby PA. Robison LL. Whitton JA. Zevon MA. Gibbs IC. Tersak JM. Meadows AT. Stovall M. Zeltzer LK. Mertens AC. Childhood Cancer Survivor Study Steering Committee. Utilization of special education services and educational attainment among long-term survivors of childhood cancer: a report from the Childhood Cancer Survivor Study. <i>Cancer</i> . 97(4):1115-26, 2003 Feb 15. (クリティーク:横山) M2 修論進捗状況報告
7月12日	渡井いずみ 大田えりか	Berglund AL. Ericsson K. Different meanings of quality of life: a comparison between what elderly persons and geriatric staff believe is of importance. <i>International Journal of Nursing Practice</i> . 9(2):112-9, 2003 Apr. (クリティーク:有本) M2 修論進捗状況報告
9月20日	村嶋幸代 大田えりか 松崎政代 春名めぐみ	平成17年度前半期の反省と後半期の課題 学会予行: BMI 別に見た妊娠各期の部位別体組成の検討 : 妊婦の尿中バイオピリン値に関連する要因 : 妊娠中の母体体重増加とその関連要因
9月27日	大田えりか Louice 吉岡京子 渡井いずみ	M2 修士論文中間報告 ICCHNR 予行: Current Social Support Needs of Filipino Migrants in Japan: Issues and Challenges in Community Health : End-of life Care for the Elderly with Dementia at Group-Home Setting in Japan : Influence of Work-Family Conflict to the Cumulative Fatigue of IT engineers with Preschool Aged in Japan
10月4日	長弘佳恵	M2 修士論文進捗状況報告 ICCHNR 報告
10月11日	村山洋史 横山由美	M2 修士論文中間報告 研究計画: ダウン症候群の子どもを出産した母親の看護ケアについて—告知によるショックの大きさとそこから回復過程に影響を及ぼす要因—
10月18日	中山香映	Eckert K. Turnbull D. MacLennan A. Immersion in water in the first stage of labor: a randomized controlled trial. <i>Birth</i> . 28(2):84-93, 2001 Jun. (クリティーク:渡辺)

10月18日	有本 梓	研究計画:精神疾患のある母親に対する子育て支援における市町村保健師の役割—複数機関・住民との協力に着目して—
10月25日	永田智子 渡辺悦子	Morgan RO. Virnig BA. Duque M. Abdel-Moty E. Devito CA. Low-intensity exercise and reduction of the risk for falls among at-risk elders. <i>Journals of Gerontology Series A-Biological Sciences & Medical Sciences</i> . 59(10):1062-7, 2004 Oct. (クリエイター:小林) 話題提供:出産後女性の体重変化
11月1日	松崎政代 Louice	Sword W. Niccols A. Fan A. "New Choices" for women with addictions: perceptions of program participants. <i>BMC Public Health</i> . 4(1):10, 2004 Apr 15. (クリエイター:春名) D3 博士論文経過報告
11月8日	渡井いずみ 中山香映	Jansen NW. van Amelsvoort LG. Kristensen TS. van den Brandt PA. Kant IJ. Work schedules and fatigue: a prospective cohort study. <i>Occupational & Environmental Medicine</i> . 60 Suppl 1:i47-53, 2003 Jun (クリエイター:有本) M1 修士論文研究計画
11月15日	大島浩子 長弘佳恵	Jehkonen M. Ahonen JP. Dastidar P. Koivisto AM. Laippala P. Vilkki J. Molnar G. Predictors of discharge to home during the first year after right hemisphere stroke. <i>Acta Neurologica Scandinavica</i> . 104(3):136-41, 2001 Sep. (クリエイター:村嶋) M2 修士論文進捗状況報告
11月22日	渡辺悦子 福井郁子	Hannah ME. Hannah WJ. Hewson SA. Hodnett ED. Saigal S. Willan AR. Planned caesarean section versus planned vaginal birth for breech presentation at term: a randomised multicentre trial. Term Breech Trial Collaborative Group. <i>Lancet</i> . 356(9239):1375-83, 2000 Oct 21. (クリエイター:松崎) 修論進捗状況報告
11月29日	小林小百合 大田えりか	de la Cuesta C. The craft of care: family care of relatives with advanced dementia. <i>Qualitative Health Research</i> . 15(7):881-96, 2005 Sep. (クリエイター:田口) M2 修士論文進捗状況報告
12月6日	吉田真奈美 村山洋史	卒業論文中間報告 M2 修士論文進捗状況報告
12月13日	福井郁子 横山由美	Boman KK. Bodegard G. Life after cancer in childhood: social adjustment and educational and vocational status of young-adult survivors. <i>Journal of Pediatric Hematology/Oncology</i> . 26(6):354-62, 2004 Jun. (クリエイター:渡井) Hurst I. Mothers' strategies to meet their needs in the newborn intensive care nursery. <i>Journal of Perinatal & Neonatal Nursing</i> . 15(2):65-82, 2001 Sep. (クリエイター:永田)
12月20日	田口敦子 村山陵子	Vass M. Avlund K. Lauridsen J. Hendriksen C. Feasible model for prevention of functional decline in older people: municipality-randomized, controlled trial. <i>Journal of the American Geriatrics Society</i> . 53(4):563-8, 2005 Apr. (クリエイター:中山) 話題提供:妊婦の睡眠について

1月17日	長弘佳恵 村山洋史 大田えりか	修士論文発表予行
1月24日	〃	〃
1月31日	福井郁子 村嶋幸代	修士論文進捗状況報告 話題提供：僻地における看護ニーズの実態把握調査
2月7日	吉田真奈美 Louice	卒業論文発表予行 D3 博士論文経過報告
2月21日	春名めぐみ 中山香映	話題提供：妊婦の栄養・ストレス調査—妊娠中の血中ケトン体上昇の リスク要因の検討— M1 修士論文研究計画
2月28日	松崎政代 横山由美	博士論文研究計画 研究計画：ダウン症候群の子どもを出産した母親の看護ケアについて —告知によるショックの大きさとそこから回復過程に 影響を及ぼす要因—
3月7日	小林小百合 渡井いずみ	博士論文研究計画

(2) 母性看護学・助産学研究報告会

平成17年度、報告会において実施されたテーマおよび報告者は以下の通りである。
前期2005.4/19～6/14, 後期9/6～11/22

月日	担当者	実施されたテーマ
4月19日	渡辺悦子	CA Lovelady, KE Garner, Moreno JP, Williams KL. The Effect of Weight Loss in Overweight, Lactating Women on the Growth of Their Infants. <i>N Engl J Med</i> 342: 449-53, 2000.
4月26日	村山陵子	H Chihara, Y Otsubo, T Araki. Resting energy expenditure in pregnant Japanese women. <i>J Nippon Med Sch</i> , 69(4): 373-375, 2002. J. V. G. A. Durnin. Energy requirements of pregnancy: An integration of the longitudinal data from the five-country study. <i>Lancet</i> 14: 1131-1133, 1987.
5月17日	春名めぐみ	ICM 予行: A comparison of health education provided to pregnant women by independent midwives and obstetricians in Japan.
5月24日	松崎政代	YJ Kim, YC Hong, KH Lee, HJ Park, EA Park, HS Moon, EH HA. Oxidative stress in pregnant women and birth weight reduction. <i>Reproductive Toxicology</i> . 19: 487-492. 2005.
5月31日	大田えりか	修論計画：妊娠初期・中期・末期の母体体脂肪増加とそれに関連する要因(仮)
6月7日	中山香映	Kaplan B. Rabinerson D. Lurie S. Bar J. Krieser UR. Neri A. Transcutaneous electrical nerve stimulation (TENS) for adjuvant pain-relief during labor and delivery. <i>International Journal of Gynaecology & Obstetrics</i> . 60(3):251-5, 1998 Mar.

6月14日	本田由佳	研究報告：妊婦体組成測定法妥当性の検証（羊水量について）
9月6日	渡辺悦子	公衆衛生学会予行：出産後の体重と生活習慣の変化
9月20日	村山陵子	話題提供：10代出産女性への支援
9月27日	春名めぐみ	母性衛生学会予行：妊娠中の母体体重増加とその関連要因—妊娠前BMI標準妊婦での検討—
10月11日	松崎政代	話題提供：Senegal report in 2005
10月18日	本田由佳	話題提供：妊婦の体脂肪分布について
10月25日	中山香映	修論計画：分娩第一期の入浴による陣痛促進の効果
11月1日	大田えりか	修論進捗状況報告
11月22日	〃	〃

(3) 研究会・勉強会

1) シフラの会

	月 日	講 師	演 題
第3回	2月24日(金)	渡邊洋子先生 (杉並区高円寺保健センター所長)	国際地域保健の中での助産師の役割 —インドネシアでの母子手帳プロジェクトの経験から—

2) これからの施設内分娩と助産師教育のあり方勉強会

	月 日	講 師	演 題
第1回	3月22日(水)	村上睦子先生 (日本赤十字社医療センター看護副部長)	これからの施設内分娩 —オープンシステムモデル事業報告より—

(4) 研究プロジェクト

春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子, 福岡秀興, 関根恭一
就労妊婦の労働負担による身体及び心理的ストレスに関する研究
平成16, 17年度 科学研究費補助金 萌芽研究

春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子, 福岡秀興, 村嶋幸代, SeonAe Yeo
出産後の女性に対する健康生活プログラムとその効果
平成17, 18, 19年度 科学研究費補助金 基盤研究B

本田由佳, 春名めぐみ, 福岡秀興
女子中学・高校生の骨量・体組成に関する調査

本田由佳, 春名めぐみ, 金井万里子
産褥期における体組成の変化に関する調査 (児の栄養別検討)

本田由佳, 春名めぐみ, 深山知子
妊婦のエネルギー消費量に関する調査

久保田富夫, 木暮貴政, 村山陵子
「睡眠および睡眠環境とベッド, マットレス」に関する研究
特定医療法人財団 健和会臨床疫学研究所・株式会社パラマウントベッド共同研究

(5) 研究交流促進

- 1) 日本学術振興会 論博プログラム (平成16年度～20年度)
Pham Quynh Huong 氏 (ベトナム) 受け入れ協力
- 2) 共同研究者 招へい (平成17年度)
SeonAe Yeo 先生 (米国 University of Michigan, associate professor)
少子高齢社会における効果的なヘルスプロモーションプログラムの開発と検証
平成18年3月1日～29日 来日
- 3) 日本学術振興会 外国人招へい研究者 (短期) 受け入れ (平成17年度)
Elisabeth Severinsson 先生 (ノルウェイ University of Stavanger, professor)
出産後や育児期にある女性のメンタルヘルス リスクファクターおよびサポート,
ニーズ, 家族のコーピング方法に関する国際総合比較研究—
平成18年3月19日～4月5日 来日

4. 教育活動

(1) 学部講義

1) 母性看護学 3年後期 I-1・2

担当：春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子

近藤 好枝 (非常勤講師：慶応義塾大学看護医療学部 教授)

村上 睦子 (非常勤講師：日本赤十字社医療センター 看護副部長)

三宅はつえ (非常勤講師：もものみ助産院・出張開業助産師)

上妻 志郎 (東京大学医学部産科婦人科学教室 助教授)

藤井 知行 (東京大学医学部産科婦人科学教室 助教授)

本田 京子 (東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟 主任副看護師長)

目的：人間のライフサイクルの中で生殖に関与する期間のうち，妊娠，分娩，産褥各期を中心に，その基礎と健康問題のアセスメント及び看護の計画，実施，評価法を学習する。

参考書：系統看護学講座 母性看護学〔1〕〔2〕医学書院

日程	時間	講義題目	担当
10月17日(月)	9:00~12:10	母性看護学概論, 妊娠期の看護	春名
10月20日(木)	16:20~17:50	分娩期の経過 (正常・異常)	上妻
10月24日(月)	9:00~12:10	分娩期の看護	本田
10月27日(木)	16:20~17:50	産褥期の看護	渡辺
10月31日(月)	9:00~12:10	新生児 (正常・ハイリスク) の看護	近藤
11月7日(月)	9:00~12:10	妊産褥婦, 新生児の看護過程の事例展開	春名 渡辺
11月10日(木)	16:20~17:50	施設内分娩における助産師の役割(1)	村上
11月17日(木)	16:20~17:50	施設内分娩における助産師の役割(2)	村上
11月24日(木)	16:20~17:50	自然出産と助産師の仕事	三宅
11月25日(金)	16:20~17:50	産褥期の異常	藤井
12月1日(木)	16:20~17:50	自然出産と助産師の仕事	三宅

2) 看護学の基礎と展開 (総合科学：人間・環境一般)

対象：駒場学生

日程	時間	講義題目	担当
6月23日(木)	16:20~17:50	女性の健康を守る看護	村山
6月30日(木)	16:20~17:50	マタニティーサイクルにおける看護の役割	春名

3) 健康科学・看護学概論

対象：2年生（進学予定学生）

期日：4学期 平成17年11月15日

内容：「出産をめぐる今日のニーズと看護」（春名）

4) 総合看護学

対象：3年生（編入生）

期日：3年・4年後期 平成17年11月30日

内容：「女性の健康問題へのアプローチ」（村山）

5) 助産学Ⅰ 4年前期Ⅰ－2・Ⅲ（助産学教育課程履修者必修）

目的：助産学の基本概念および助産師の役割と責務を理解し、国内外におけるこれからの助産師の役割を考える視点を養う。助産学の展開に必要な性・生殖系の病態生理や妊婦・胎児の成長発達診断方法、不妊症、生殖補助医療などの医学的知識を学ぶ。

参考書：助産学講座 1. 助産学概論, 2. 生殖の形態・機能. 医学書院

日程	時間	講義題目	担当
5月10日（火）	16:20～17:50	概論Ⅰ 助産学の基本的概念・理念と助産の歴史	春名
5月12日（木）	16:20～17:50	概論Ⅱ 助産師の役割と機能および責務	春名
9月15日（木）	9:00～14:50	不妊症, 妊娠の生理, 胎児の生理・異常, 妊娠初期の異常	M2 講義
9月16日（金）	9:00～12:10	異常妊娠	M2 講義

6) 助産学Ⅱ 4学年前Ⅲ・後（助産学教育課程履修者必修）

目的：周産期における正常・異常を判断する技術・能力、助産師にとって重要な相談・教育・援助活動ができる能力を養う。また助産学の対象とする女性の健康への理解を深める。

参考書：助産学講座 2. 生殖の形態・機能 5. 助産診断・技術学Ⅰ 6. 助産診断・技術学Ⅱ 医学書院

日程	時間	講義題目	担当
9月1日（木）	13:00～14:30	新しい女性医療の実践の現場から①	対馬
9月8日（木）	13:00～14:30	新しい女性医療の実践の現場から②	対馬
9月15日（木）	15:00～16:30	新しい女性医療の実践の現場から③	対馬
12月8日（木）	9:00～10:30	周産期における継続ケアとその評価	春名

2月17日(金)	9:00~10:30	遺伝相談・不妊治療における助産ケア①	安藤
2月17日(金)	10:40~12:10	遺伝相談・不妊治療における助産ケア②	安藤
2月17日(金)	13:00~14:30	事例検討 出生前診断, 新生児スクリーニング	安藤
2月17日(金)	14:40~16:10	事例検討 遺伝子診断後のフォローアップ	安藤

非常勤講師：対馬ルリ子（ウイミンズ・ウェルネス銀座クリニック 院長）

安藤 広子（岩手県立大学看護学部看護学科 助教授）

7) 助産学Ⅳ 4年 前期Ⅲ・後（助産学教育課程履修者必修）

目的：産婦，褥婦および児の健康状態を診断し，安全かつ満足度の高い分娩，産褥経過をたどるよう援助できる能力・技術を養う。

参考書：助産学講座 4. 乳幼児の成長発達・新生児の管理， 6. 助産診断・技術学Ⅱ
医学書院

日程	時間	講義題目	担当
6月29日(水)	9:00~16:10	授乳期の援助	武市
12月8日(木)	10:40~16:10	分娩期アセスメント：経過の予測診断技術	村山
12月9日(金)	9:00~14:30	分娩期のケア：根拠にもとづくケア	村山
12月9日(金)	14:40~16:10	異常時のテクニック，異常分娩での助産師の役割	村山
12月12日(月)	9:00~12:10	分娩介助技術演習Ⅰ	村山
12月12日(月)	13:00~16:10	分娩介助技術演習Ⅰ	本田・山崎*
12月13日(火)	9:00~16:10	分娩介助技術演習Ⅱ： 正常な経過をたどる場合（フリースタイル分娩）	中根
12月13日(火)	16:20~17:50	フィジカルアセスメント演習	渡辺
12月14日(水)	16:20~17:50	事例による助産計画の展開①	渡辺
12月15日(木)	16:20~17:50	事例による助産計画の展開②	渡辺

非常勤講師：武市 洋美（助産師，国際認定ラクテーション・コンサルタント（IBCLC））

中根 直子（日本赤十字医療センター 分娩室係長）

*：本田 京子（東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟 主任副看護師長）

山崎めぐみ（東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟 副看護師長）

8) 助産管理学 4学年夏休み（助産学教育課程履修者必修）

目的：助産業務を安全に・円滑に遂行するために必要な助産管理の原理と技法，法的側面について知識を養う。

参考書：助産学講座 8. 助産管理 医学書院

助産所開業マニュアル 日本助産師会刊

日程	時間	講義題目	担当
8月22日(月)	9:00~10:30	助産管理とは① 管理の基本概念とプロセス, 要点と特徴	春名
8月22日(月)	13:00~14:30	助産管理とは②法的側面	三宅
8月23日(火)	13:00~14:30	助産管理とは③医療事故, リスクマネジメント	三宅
8月23日(火)	14:40~16:10	助産師のエンパワーメント	三宅
8月24日(水)	13:00~14:30	助産所における助産管理	三宅
8月25日(木)	14:40~16:10	病院における助産管理①	影山・渡辺
8月26日(金)	14:40~16:10	病院における助産管理②	影山・春名

非常勤講師：三宅はつえ（もものみ助産院, 出張開業助産師）

影山 初子（総合母子保健センター愛育病院 看護部長）

(2) 学部実習

1) 母性看護学実習 (2単位)

対象：4年生10名

担当：春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子

目的：妊婦, 産婦, 褥婦および新生児とその家族を理解し, 対象に応じた看護を実践できる知識・技術を養う。

期間：前期 平成17年6月20日～7月19日

実習施設：東京大学医学部附属病院

入院棟A3階南 女性診療科・産科病棟・NICU

女性診療科・産科外来

実習時間：8:00～15:00（外来8:30～）

2) 助産学実習 I (1単位)

対象：4年生 助産学教育課程履修者

担当：春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子

目的：助産院および病院における助産業務管理の実際から, 助産管理・運営, 助産領域におけるケア提供の場の違いによる特徴や役割を理解し, 対象者の立場から求められるサービス提供のあり方, 消費者とのエンパワーメント, 他職種との連携について考える視点を養う。

期間：平成17年8月22日(月)～8月27日(土)

実習施設：福岡助産院

総合母子保健センター 愛育病院

3) 助産学実習Ⅱ (7単位)

対象：4年生 助産学教育課程履修者

担当：春名めぐみ, 村山陵子, 渡辺悦子

目的：妊娠・分娩・産褥・新生児・育児期における母子および家族に対して，健康状態をアセスメントし，適切なケアを実践するための，基本的な知識，技術，態度を養う。

期間：産褥継続実習 平成17年 7月～平成18年2月

分娩介助実習，産褥・新生児実習

平成17年12月12日(月)～12月22日(木) 2週

平成18年1月10日(火)～2月10日(金) 5週 計7週間

妊婦外来実習 平成17年12月15日(木)～22日(木)のうち全3日間

実習施設：東京大学医学部附属病院 産科(新入院棟3階南フロア)，女性診療科・産科外来

(3) 大学院特論

1) 母性看護学・助産学特論Ⅰ

担当：春名めぐみ / 村嶋幸代

日暮 眞(東京大学 名誉教授)

高橋真理(非常勤講師：北里大学看護学部 教授)

目的：研究を推進するための基礎的能力を育成する。

母性看護学・助産学分野における現在の動向を把握し，時代のニーズ(遺伝カウンセリング，ハイリスク児における援助など)に対応できる基礎的能力を育成する。

主な参考書：

- ・Sue Proctor, Mary Renfrew: Linking Research and Practice in Midwifery. 2000
- ・前原澄子監訳：助産学研究入門 エビデンスにもとづく実践をめざして

日程	テーマ	担当
4月14日(木)	オリエンテーション, 打ち合わせ	春名
28日(木)	テキスト輪読	春名
	1. Shaping our destiny: genes, environment and their interactions	Watanabe
	2. Mother and fetus	Ota
5月12日(木)	テキスト輪読	春名
	3. Fetal choices	Matsuzaki
	4. predictive adaptive responses and human disease	Louie
19日(木)	テキスト輪読	春名
	5. Obesity, diabetes and other diseases	Nakayama

5月19日(木)	6. The biology of predictive adaptive responses	Murayama
26日(木)	テキスト輪読	春名
	7. Predictive adaptive responses - critical processes in evolution	Haruna
6月2日(木)	Women's Health & Research 1	高橋
9日(木)	遺伝相談	日暮
16日(木)	Women's Health & Research 2	高橋

2) 母性看護学・助産学特論Ⅱ

担当：春名めぐみ / 村嶋幸代

堀内 成子 (非常勤講師：聖路加看護大学 看護学部 教授)

島田三恵子 (非常勤講師：大阪大学大学院 医学系研究科 教授)

目的：研究を推進するための基礎的能力を育成する。

母性看護学・助産学分野における現在の動向を把握し、時代のニーズに対応できる基礎的能力を育成する。

主な参考書：

- ・S. B. Hulley (木原正博訳) . 医学的研究のデザイン. メディカルサイエンスインターナショナル社. 1999.
- ・古谷野亘, 長田久雄. 実証研究の手引き—調査と実験の進め方・まとめ方. 株式会社ワールドプランニング. 1998.
- ・石井京子, 多尾清子. ナースのための質問紙調査とデータ分析. 医学書院. 2002.
- ・斉尾 武郎. EBM 楽しい演習帳. 金芳堂. 2004.

日程	テーマ	担当
9月30日(金)	オリエンテーション, 打ち合わせ	春名
10月12日(水)	EBMの手法を用いて吟味するⅠ	堀内
14日(金)	テキスト輪読	春名
21日(金)	Research questionと研究計画そして論文を仕上げるまでⅠ	島田
26日(水)	EBMの手法を用いて吟味するⅡ	堀内
11月2日(水)	EBMの手法を用いて吟味するⅢ	堀内
4日(金)	Research questionと研究計画そして論文を仕上げるまでⅡ	島田
9日(水)	EBMの手法を用いて吟味するⅣ	堀内
18日(金)	テキスト輪読	春名
25日(金)	テキスト輪読	春名

(4) 修士論文

「生体インピーダンス法による妊娠中と産後1か月の身体組成の推移およびその関連要因」
大田えりか（指導教員：村嶋幸代 / 春名めぐみ）

(5) 卒業論文

「在日フィリピン人母親が子育てで直面した困難と対処」
吉田真奈美（指導教員：村嶋幸代 / 春名めぐみ）

5. 学内外での活動

(1) 学内の活動・役割

春名めぐみ	化学物質管理担当者	平成15年4月～
村山陵子	教育委員	平成16年4月～
渡辺悦子	倫理指導委員	平成16年4月～

(2) 学外での活動

春名めぐみ
日本母性衛生学会総務部幹事 平成15年12月～

春名めぐみ, 松崎政代, 大田えりか, 中山香映
オーストラリア・ブリスベン ICM 国際助産学会, 病院見学, 研修旅行
平成17年7月

松崎政代
(社) 日本助産師会 アクティブセミナー 講師 平成17年11月
(社) 日本助産師会 組織強化委員会 平成14年8月～

松崎政代, 大田えりか
JICA 海外協力隊短期派遣事業 セネガル・パオスコト郡 平成17年8月

(3) その他

東京医学会第2386回集会開催

日時：平成18年3月28日(火) 10:00～12:00

場所：東京大学医学部5号館315室

演者：Elisabeth Severinsson, RPN, MSc, Ph.D

(所属) Department of Health Studies, University of Stavanger, Norway

演題：Childbearing and postnatal women's mental health

招へい教授講演

日時：平成18年3月3日(金) 14:00~16:00

場所：東京大学医学部5号館315室

演者：SeonAe Yeo, RNC, PH.D

(所属)The University of Michigan, School of Nursing

演題：Regular exercise and women at risk for preeclampsia

日時：平成18年3月31日(金) 10:00~12:00

場所：東京大学医学部5号館315室

演者：Elisabeth Severinsson, RPN, MSc, PH.D

(所属)Department of Health Studies, University of Stavanger, Norway

演題：Work stress and burnout

6. 教室日誌

2005年	4月4日	健康科学・看護学科進学式 助産学教育課程オリエンテーション
	4月14日～6月16日	母性看護学・助産学特論Ⅰ 講義
	5月10日～9月16日	助産学Ⅰ 講義
	6月20日～7月19日	母性看護学実習
	6月23日, 30日	看護学の基礎と展開 (総合科学: 人間・環境一般) 講義
	6月29日～12月15日	助産学Ⅳ 講義・演習
	7月12日	平成17年度第1回病院看護部および健康科学・看護学科看護系教員連絡会議
	8月22日～8月26日	助産管理学 講義
	8月22日～8月27日	助産学実習Ⅰ
	9月1日～12月8日	助産学Ⅱ 講義
	9月30日～11月25日	母性看護学・助産学特論Ⅱ 講義
	10月1日	小畑人希 事務補佐員 就任
	10月17日～12月1日	母性看護学 講義
	11月30日	総合看護学 講義
	12月5日, 9日	東大病院研修 (院生)
	12月6日	平成17年度第2回病院看護部および健康科学・看護学科看護系教員連絡会議
	12月12日～12月22日	助産学実習Ⅰ①
	12月19日	助産学教育課程説明会
2006年	1月10日～2月10日	助産学実習Ⅰ②
	1月26日, 27日	修士論文発表会
	2月1日～2月10日	助産学教育課程出願受付
	2月13日, 14日	卒業論文発表会
	2月15日	助産学教育課程選考面接 (4名)
	2月15日	助産学教育課程の話し合い
	2月24日	第3回 シフラの会開催
	3月1日～3月29日	SeonAe Yeo 先生招へい
	3月3日	招へい教授講演 (SeonAe Yeo 先生)
	3月7, 17, 23, 27日	フォーカスグループインタビュー
	3月19日～4月5日	Elisabeth Severinsson 先生招へい
	3月22日	これからの施設内分娩と助産師教育のあり方勉強会開催
	3月28日	東京医学会第2386回集会 (Elisabeth Severinsson 先生)
	3月31日	招へい教授講演 (Elisabeth Severinsson 先生)

7. 教室員名簿

<2005年度>

職名	氏名	勤務先 名称・住所
教授(兼担) 2003.5.21～	村嶋 幸代	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 地域看護学分野
講師 2002.6.16～	春名 めぐみ	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野
講師 2003.10.1～	村山 陵子	同 上
助手 2004.4.1～	渡辺 悦子	同 上
非常勤講師(大学院) 2002.10～	高橋 真理	北里大学 看護学部 〒228-0829 神奈川県相模原市北里2-1-1
非常勤講師(大学院) 2003.4～2006.3	堀内 成子	聖路加看護大学 看護学部 〒104-0044 東京都中央区明石町10-4
非常勤講師(大学院) 2003.4～	島田 三恵子	大阪大学大学院 医学系研究科 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7
非常勤講師(学部/母性看護学) 2003.4～	近藤 好枝	慶應義塾大学 看護医療学部 〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤4411
非常勤講師(学部/母性看護学) 2004.4～	村上 睦子	日本赤十字社医療センター 看護部 〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-22
非常勤講師(学部/母性看護学) 2002.10～	三宅 はつえ	もものみ助産院(出張開業) 〒306-0023 茨城県古河市本町4-7-1-2-503
非常勤講師(学部/助産学) 2005.4～	安藤 広子	岩手県立大学 看護学部 〒020-0193 岩手県滝沢村滝沢字菓子152-52
非常勤講師(学部/助産学) 2005.4～2006.3	武市 洋美	オケタニ企画 〒160-0023 東京都新宿区喜久井町20-8 オケタニ早稲田ビル
非常勤講師(学部/助産学) 2005.4～	対馬 ルリ子	フイメールガーデン ウィミンズ・ウェルネス銀座クリニック 〒104-0061 東京都中央区銀座1-7-10 銀座富士ビル3階
非常勤講師(学部/助産学) 2005.4～	中根 直子	日本赤十字社医療センター 分娩室 〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-22
病院関係協力者(学部/母性看護学) 2004.4～	上妻 志郎	東京大学 医学部産科婦人科学教室
病院関係協力者(学部/母性看護学) 2004.4～	藤井 知行	同 上
病院関係協力者(学部/母性看護学, 助産学) 2005.4～	本田 京子	東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科
病院関係協力者(学部/助産学) 2005.4～	山崎 めぐみ	同 上
病院関係協力者(学部/助産学) 2005.4～	福岡 光子	福岡助産院 〒131-0032 東京都墨田区東向島4-32-9
病院関係協力者(学部/助産学) 2005.4～	影山 初子	総合母子保健センター 愛育病院 〒106-0047 東京都港区麻布5-6-8

職名	氏名	勤務先 名称・住所
大学院生 (博士1年) 2003. 4～	松崎 政代	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野
大学院生 (修士2年) 2004. 4～	大田 えりか	同 上
大学院生 (修士1年) 2005. 4～	中山 香映	同 上
研究生 2004. 4～	本田 由佳	タニタ 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2
卒論生 2005. 4～	吉田 真奈美	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 地域看護学分野
事務補佐員 2003. 4～	峯 圭子	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野
事務補佐員 2005. 10～	小畑 人希	同 上

母性看護学・助産学分野年報	第4号
発行年月日:	2006年3月31日
発行責任者:	〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 母性看護学・助産学分野 春名めぐみ・村山陵子 / 村嶋幸代 Tel & Fax 03-5841-3396
